

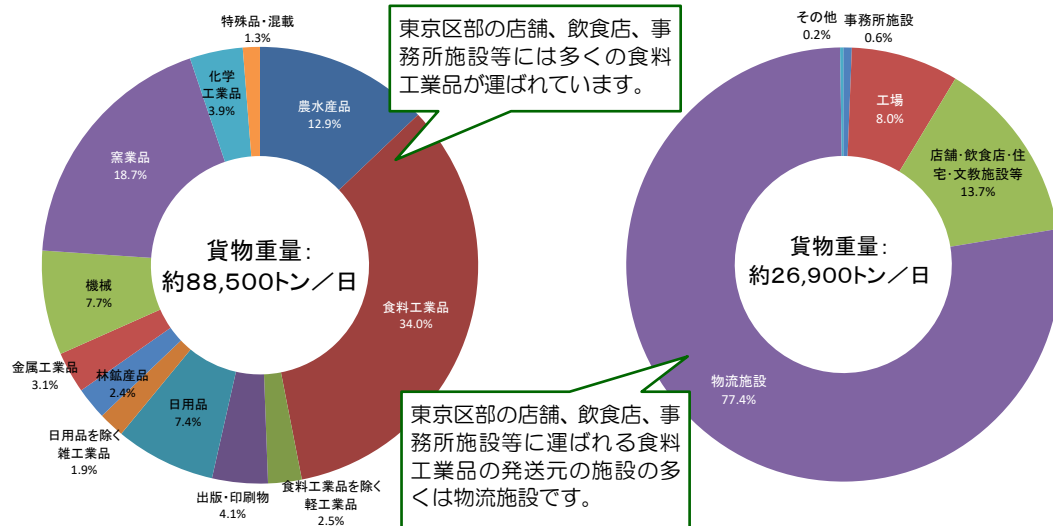
◆活用事例③：物の流れの解明へのデータ活用

東京都市圏物資流動調査は、物資流動量（輸送トン数、貨物車台数）を、発着地の市区町村別・施設種別・業種別、品目別等に調査しているため、物資流動を通じた地域同士の結びつきを分析することができます。

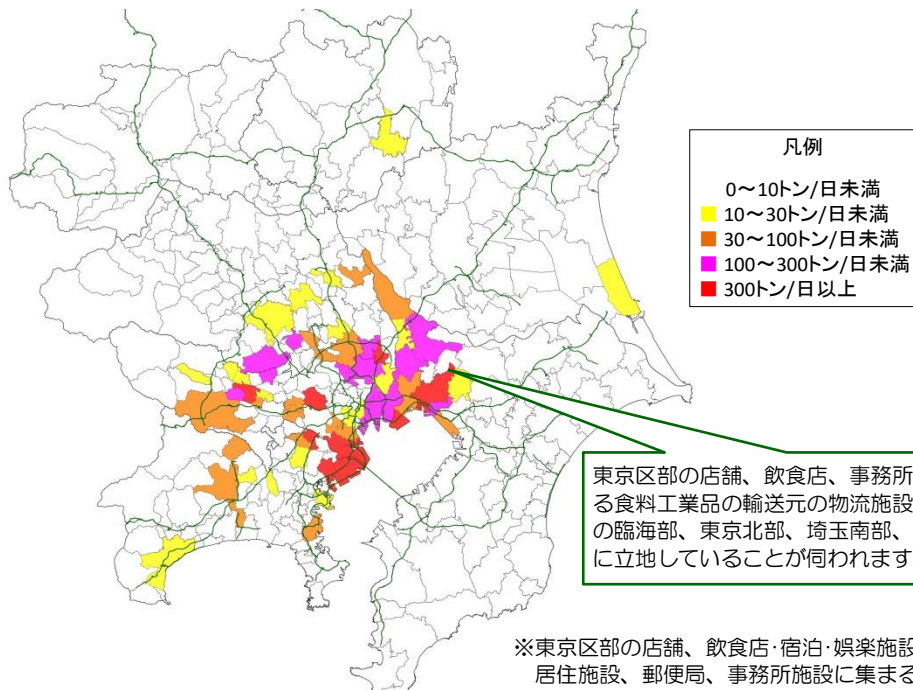
<物資の輸送元（物資がどこから運ばれてくるか）の分析>

- ・身近な市区町村を対象にして、当該市区町村にどんな物資がどこのどんな施設から運ばれているかを分析することができます。
- ・以下は、東京区部で消費されている食料工業品がどこから運ばれてきているかを分析した例です。臨海部、東京北部、埼玉南部、千葉西南部の物流施設から多く運ばれていることがわかります。

- 東京区部の店舗、飲食店、事務所施設等に運ばれている物資の品目構成比
- 東京区部の店舗、飲食店、事務所施設等に運ばれている食料工業品の発送元の施設種類構成比



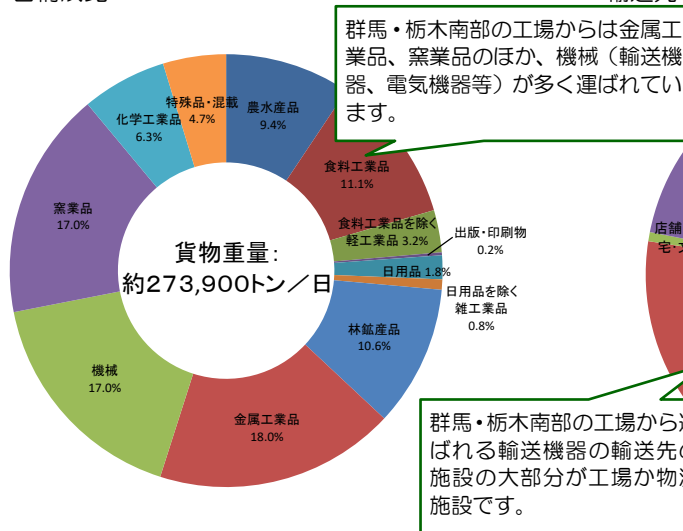
- 東京区部の店舗、飲食店、事務所施設等に食料工業品の発送している物流施設の発生量分布（市区町村別）



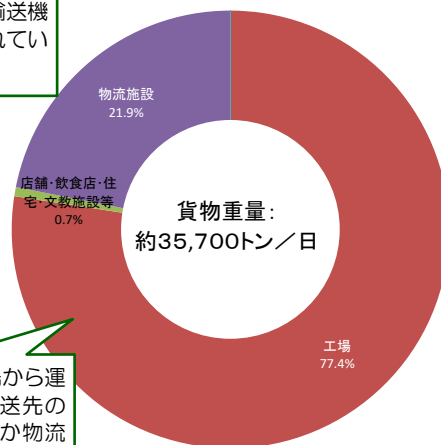
<物資の輸送先（物資がどこに運ばれているか）の分析>

- 身近な市区町村を対象にして、当該市区町村からどんな物資がどこのどんな施設へと運ばれているのかを分析することができます。
- 以下は、群馬南部・栃木南部の工場で生産されている輸送機器（自動車など）がどこに運ばれているかを分析した例です。同じ北関東圏域や埼玉県、神奈川県、茨城港等の港湾にも多く運ばれているのがわかります。

●群馬南部・栃木南部の工場から発送される物資の品目構成比



●群馬南部・栃木南部の工場から発送される輸送機器の輸送先の施設種類構成比



●群馬南部・栃木南部の工場から発送される輸送機器の輸送先の工場・物流施設の集中量分布（市区町村別）

